

日本から帰国した技能実習生、就労割合は 26.7%

2022/08/31 06:07 JST 配信

PR

[【ドメイン・メール・ウェブ・サーバー・クラウド】なら日系のチロロネットベトナムへ](#)

国際協力機構(JICA)は、ベトナムの「産業人材育成分野における情報収集・確認調査」の最終報告書をこのほど発表した。



イメージ画像 [写真の拡大](#)

2021年6月時点で日本で働いているベトナム人技能実習生の人数は約20万2000人で、外国人技能実習生全体の57.1%を占めており、2017年から2019年にかけてベトナム人技能実習生の数は各分野で大幅に増加し、特に建設業は9倍増となっている。

外国人技能実習機構のデータによると、日本からベトナムに帰国した後に就労した割合は26.7%で、中国やタイ、フィリピンの50%以上に比べ、とりわけ低い値となっている。日本で学んだ技能を生かせる職種に就く割合は低く、多くは日本語を使った営業や海外労働派遣コンサルティング、語学指導などに

携わっている。報告書は「技能実習制度本来の目的である技能・技術移転が果たせておらず、ある意味、実習経験を無駄にしている」との見解を示している。

また、日系企業 341 社へのアンケート調査と採用担当者へのヒアリングから、帰国実習生を採用する際の問題点は、「研修生の実務経験と業務とのミスマッチ」と「帰国実習生の高い給与と地位への期待」であることが分かった。日本での実習生の給与は 1000~1500USD(約 13 万 9000~20 万 8000 円)で、ベトナムの新入社員の平均給与の 3~4 倍と差が大きく、日系企業の 47%が給与問題は大きな障害と捉えている。

なお、採用担当者の 23%は、帰国実習生の情報が不足していると指摘している。本人からの応募や本社・パートナー企業からの紹介で偶然採用するケースが多いという。